



# 美木中だより 1月号

学校教育目標

自立貢献

～自己を認識し、自分の人生を選択し、  
表現することのできる生徒の育成～

令和5年1月20日

発行

尾道市立美木中学校

## 新年を迎えて

令和五年が始まりました。

新しい年、そして新学期を迎え、皆、張り切っていることと想います。

十二月の終業式では、冬休みは自分自身の一年を振り返り、新しい年が充実したものになるよう準備してくださいとお話しをしました。

皆さんは、今年の抱負や目標を定めましたか。

今、社会は、科学が急激に進歩し、未来がどのように変わっていくか予測が難しいと、言われています。しかし、そんな時代だからこそ、皆さんには変化に対応できる人になってほしいと思います。



せいぎ びしょう

「走れメロス」の著者である太宰治は、小説『正義と微笑』の中に、次のようなことを書いています。

「日常生活に直接役に立たないような勉強こそ、将来、君たちの人格を完成させるのだ。

何も自分の知識を誇る必要は無い。勉強して、それから、けろりと忘れてもいいんだ。覚えるということが大事なのではなくて、大事なのは才能をみがくということなんだ。

教養というのは、公式や単語をたくさん暗記している事ではなくて、心を広く持つという事なんだ。つまり、愛するという事を知ることだ。

学問なんて、覚えると同時に忘れてしまってもいいものなんだ。けれども全部忘れてしまっても、その勉強の訓練の底に一つかみの砂金が残っているものだ。これだ。これが貴いのだ。勉強しなければいかん。そうして、その学問を、生活に無理に直接に役立てようとあせってはいかん。ゆったりと、真に才能を研ぎ澄まされた人間になれ！」（※ 原文を一部変えていますのでご了承ください。）

太宰治が何を言おうとしているのか考えをめぐらせてください。そして、自分にとって価値ある「一つかみの砂金」とは何になるのか。じっくりと考え、悩んでください。深く考えることで、人は耕されます。

令和五年、新しい年がスタートしました。将来、皆さんが「一つかみの砂金」を手にするよう、今年も応援したいと思います。

令和5年1月10日

尾道市立美木中学校長 岡原 千佳

## 図書委員おすすめの「本の福袋」ができました。

図書室に入ると入口付近に「本の福袋」がたくさん飾られています。これは図書委員の皆さんが「ぜひ皆さんに読んでほしい」と、それぞれのおすすめの本を袋に詰めたものです。袋にバーコードがついていますので、袋ごと借りることができます。

「勉強の合間に読んで欲しい本」「現実逃避したいときに読む本」「ちょっと前向きになれる本」など、ぜひ自分の読みたいテーマの福袋を見つけて、読書を楽しんでみてください。



## MNC（美木ナチュラルカンパニー）認証式

12月23日（金）にMNC認証式が行われました。生徒は改めて社員としての自分をふりかえり、これからの活動について新たな思いを持つことができました。代表取締役社長の交代にあたり、旧社長の2年生村上繪美さん、新社長の有木僚真くんの挨拶を紹介します。



私は、美木ナチュラルカンパニー代表取締役社長の村上繪美です。私は、この一年間でいろいろなことを学ぶことができました。みなさん、一年生のとき、みんなで落ち葉を拾いに行き、落ち葉を箱に入れてまた箱から出し、袋に詰めるといった作業をしたのを覚えていますか。私はとても覚えています。作業をするなかで、「この腐葉土はどんな感じで売られるのだろう。」「こんなにいっぱい作って本当に完売するのかな。」とっていました。

しかし、実際に販売すると私が思っていたよりも早く完売しました。最後の一つが売れたときはとてもうれしかったことを覚えています。完売することができたのは、みなでお客さんに声をかけたり、腐葉土の良さをアピールしたりと、みんなで力を合わせた結果だと思っています。

これからもいろいろ大変なことがあると思います。ですが、この活動を、次期社長を中心に、一年生、来年の一年生とつないでいって欲しいです。そのためにみんなで力を合わせ、今できることを考え実践していきましょう。

令和4年12月23日 美木ナチュラルカンパニー 旧代表取締役社長 村上 繪美



僕は、ミキ・ナチュラル・カンパニーの代表取締役社長に就任した有木僚真です。

僕が社長になろうと思った理由は、MNCの活動の中心である腐葉土作りについてもっと学習し、MNCをよりよい会社にしていきたいと思ったからです。そのために二年前に美木中に来ていただいて、MNCが作っている腐葉土の分析結果を説明して下さった丸山さんが勤めておられる株式会社オキを企業訪問しました。そこで学んできたことを紹介します。

一つ目として、よい商品を作るために大切なことは、品質が安定しているということです。今年度もMNCの腐葉土の土壌分析をしていただきましたが、不足している成分があまりなく、養分・保肥力に優れた質の高いものになっていました。これが、土壌を傷めずに作物を生長させることにつながります。

二つ目として、SDGSに関わる取組です。オキでは、腐葉土作りに、穀殻や蠣殻、蟹柄等の廃棄物を利用しています。これらは腐葉土の有効な成分になっているのです。だから、MNCの腐葉土作りにも、このような廃棄物利用を生かしていきたいと思います。

三つ目として、商品化での工夫です。アドバイスされたことは、腐葉土を入れる袋は、透明ではなく乳白色の方が、紫外線が入らないため、微生物には良いとのことでした。現在MNCでは、透明な袋を使用しているので、改善していくと良いです。また、パッケージに製品の良い点を宣伝したら良いとのことでした。したがって、今年度の腐葉土の袋の裏側には、成分表を貼りました。

新社長として社員のみならず協力し、株式会社オキが、安心安全な農業に貢献されているように、私たちの会社MNCも、地域に貢献できる会社として、より発展させていきたいと思っています。どうぞよろしくお祈りします。

令和4年12月23日 美木ナチュラルカンパニー 新代表取締役社長 有木 僚真